

令和2年度 自己評価報告書

令和3年5月26日

学校法人山陽女学園 広島歯科技術専門学校

評価対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

目 次

1. 学校の教育理念、教育目標・・・・・・・・・・	2		
2. 評価項目別達成取り組み状況			
基準1 教育理念・目的・育成人材像・・・・・・・・	3	基準8 財務・・・・・・・・・・	11
基準2 学校運営・・・・・・・・・・	4	基準9 法令等の遵守・・・・・・・・	12
基準3 教育活動・・・・・・・・・・	5、6	基準10 社会貢献・地域貢献・・・・・・・・	13
基準4 学修成果・・・・・・・・・・	7		
基準5 学生支援・・・・・・・・・・	8	3. 評価項目別の評価結果・・・・・・・・	14
基準6 教育環境・・・・・・・・・・	9	4. 令和2年度 重点目標達成についての総合的な評価結果・・	15, 16, 17, 18
基準7 学生の受入れ募集・・・・・・・・	10	5. 令和3年度 重点目標と達成計画・・・・・・・・	19, 20

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取り組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
- 1 全く対応しておらず不適切、学校の方針から見直す必要がある

1. 学校の教育理念、教育目標

本校は、『未来に輝く人材を育成する』という理念を教育目標に掲げる学校法人山陽女学園を母体とし、昭和47年に広島県で最初の歯科技工士養成学校として創立された。

〈教育理念〉

教育基本法、学校教育法および歯科技工士法の定めるところに従い、歯科技工に関する知識と技能を身につけ、歯科医師、歯科衛生士とともに歯科医療に貢献できる人材を育成する。

〈教育目標〉

1. 歯科医療従事者としての意識、心構えなどに関わる知識を習得する。
2. 歯科技工の基礎知識と技術を身につける。
3. 実学を重視した実習指導を推進し、即戦力となる人材を育成する。
4. 地域の社会福祉に貢献できる人材を育成する。

2. 評価項目別達成取り組み状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	*学則に定め、本校の玄関先に掲示して学生、保護者、来訪者等の目に触れるようにしている
2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	*学則、学校案内において特色を明確にしている。
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	*教育課程編成委員会における提言を参考にして、教育方法や評価方法を再検討し、より企業と連携して実践的な歯科技工士教育の充実を図る。
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生や保護者等に周知されているか	3	*学生、保護者には「学生便覧」を配布、説明をして周知をしている。 *新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者懇談会を開催できなかったため、例年より周知度が低下したと感じた。保護者懇談会を継続して開催する。
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	3	*時間制から単位制に移行し、新しいカリキュラムを編成しているが、今後の社会のニーズに即応して適宜改定していく。
【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> *広島歯科技術専門学校学則 *学校案内 *広島歯科技術専門学校ホームページ http://www.sanyo.ac.jp/shika/ *令和2年度 学生便覧 		

基準2 学校運営

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	学校法人山陽女学園の寄付行為のもと、運営方針が策定されている。
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	事業計画については、各校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で意思決定している。
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	4	学校法人山陽女学園全体の重要事項については、理事会・評議員会において意思決定を行っている。
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	整備されている。就業規則、諸規定はファイルされ、教職員が閲覧可能となっている。
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	学校法人山陽女学園の運営組織（理事会・評議員会）によって整備されている。
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	学校法人山陽女学園及び本校の諸規定のもと、法令順守に努めてめている。
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	情報公開については、文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学校のホームページにおいて情報公開している。
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	情報のシステム化は不十分であるが、業務の効率化を図るための見直しは、適時行っている。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> *山陽女学園「広島歯科技術専門学校」2019～2023年の中期計画 *山陽女学園 令和2年度事業報告書、令和3年度事業計画書 *山陽女学園の寄付行為 *広島歯科技術専門学校学則など諸規定 *学校運営組織図 *広島歯科技術専門学校ホームページ http://www.sanyo.ac.jp/shika/ 		

基準3 教育活動

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	*教育課程編成委員会を開催して、教育課程の編成を見直している。また、学内においても専任教員により、見直している。
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	*学則及び学生便覧に明記し、学生・保護者に示している。
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	*教育目標に沿って、実習体型を「基礎」「応用」「企業連携」と編成している。
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	*業界のニーズに合った実習教育を目標に、より実践的（臨床的）なモデルを使用しての実習方法を工夫している。
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	*教育課程編成委員会を開催し、委員より提言をいただき授業内容等の実直しをしている。
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	*企業（歯科技工所3社）と連携した実習授業を実施している。 *広島大学病院の診療現場での見学実習、歯科技工所でのインターンシップ、歯科技工所見学の校外学習については、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	*専任教員及び非常勤講師の担当科目とも実施している。
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	*学校関係者評価委員会を年3回開催して、外部評価を受けている。 *外部評価について、卒業生（卒後1年）の就業先の歯科医院、技工所へアンケート調査を実施している。
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	*学則に定めるとともに学生便覧に明記し、また、シラバスを作成して、学生・保護者に示している。
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	*国家試験合格を目標に、十数回の模擬試験の実施と成績を開示し、個別指導体制も進んでいる。
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	*大学、高校、専門学校で教授している教員を確保している。
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど、マネジメントが行われているか	3	*実務経験のある教員を確保している。

13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2	*先端的な知識・技能の研修等の特別授業については、新型コロナウイルス感染症の影響で全て実施できなかった。
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2	*全国歯科技工士教育協議会主催の教員研修会に参加しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。 *実習現場が手薄になる等の事由で参加が減少傾向にある。
【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
特記事項 参考資料	*教員の学会、講演、その他の活動状況		

基準4 学修成果

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	就職率の向上が図られているか	3	<p>*進路面談を開催し、学生カルテを作成し学生の状況を把握している。</p> <p>*学内合同会社説明会の開催を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。</p> <p>*学生に求人先との日程調整を任せる等の不備があり、今後は3者の連携を図り、“ハウレンソウ”の徹底に努める。</p> <p>*就職希望者の就職率は100%である。</p>
2	資格取得率の向上が図られているか	4	<p>*年間3回の全国模擬試験を受験している。</p> <p>*家庭学習（国家試験問題の宿題）の取組みを、1年の後期から行っている。</p> <p>*成績不振の学生には、放課後に個別指導を行っている。</p> <p>*国家試験合格率が今年度は100%であった。</p>
3	退学率の低減が図られているか	3	<p>*学業不振で悩んでいる学生や、心に病を持った学生に対し相談にのり、保護者とも連絡をとりながら退学者の減少に努めている。</p> <p>*精神的に弱い学生には強く指導できない事により、他の学生と同じ指導ができない等、難しい一面もあった。</p> <p>*教員に相談もなく、退学を決断した学生がいたことから、学生に向き合うように努める。</p>
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	<p>*新卒者にアンケート調査を実施して、卒後の状況を把握している。</p> <p>*卒後1年目の就業先医院、技工所に対して、アンケートを実施して、勤務状況及び評価を把握している。</p>
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2	<p>*同窓会、歯科技工士会等との連携を深め研修会等の実施を引き続き進める。</p>
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	特になし		

基準5 学生支援

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	*ハローワークより職業紹介業務の認可を受け、進路指導担当者を置き体制はできている。 *学生の就職活動への取り組みが遅かった等の反省点があった。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3	*学年担任制をとっており、学生の相談には親身に取り組んでいる。
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	*学納金の減免措置等はないが、2期に分納して一度の負担を軽減している。 *奨学金の給付型は減免対象となるので、「確認大学」の申請を目指す。
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	*学校医（医師、歯科医師）を置き、毎年、胸部X線撮影、内科検診、歯科検診を行っている。
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	*「学生災害傷害保険」に加入している。
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	*専門のカウンセラーについては、学園内の他校との連携を模索している。
7	保護者と適切に連携しているか	3	*無断欠席の場合は、保護者と学生に連絡を取り、状況の把握と相談に努めている。 *年1回は保護者懇談会、個別懇談会を開催し、学校での現状を伝えている。
8	卒業生への支援体制はあるか	3	*卒業生に対する就職相談等のできる体制はある。
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	*「(一般)教育訓練給付制度」の認可を受けている。
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行なわれているか	3	*「学校関係者評価委員会」及び「教育課程編成委員会」を立ち上げ、各委員会を開催した。 *企業と連携した授業を実施した。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	*学生管理台帳		

基準6 教育環境

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *教育機器については学生数に対して十分対応でき、故障等に対しても授業に支障のないように即時対応している。 *職員室、3, 4F 実習室の照明灯をLEDライトに交換した。 *女子学生の増加、及び和式トイレが使用困難な学生の増加に伴い、洋式トイレのウォシュレットの設置を検討する。 *最近のニーズに合わせCAD機器の導入を検討する。
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2	<ul style="list-style-type: none"> *インターンシップについては、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。 *企業（歯科技工所3社）と連携した実習授業を行った。
3	防災に対する体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *学内において防災訓練（避難訓練、119番通報訓練、消火訓練、消火栓の使用方法、地震対策）を実施し災害時には対応できるように備えている。 *消防・防火設備の保守点検を業者に依頼し、毎年実施している。 *毎年1年生を対象に受けていた救急救命講習は受講できなかった。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> *防災（防火）訓練計画書 *防火管理維持台帳 		

基準7 学生の受入れ募集

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *年間スケジュールを計画し、新聞への広告掲載、個別にポスター掲示、進学雑誌への掲載、ホームページ等の充実ができています。 *高校訪問、進学ガイダンスへの参加が、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *本校のホームページ、高校訪問、学校案内等で伝えている。 *従来実施している高校訪問（年間の訪問回数、訪問校数、訪問地域）では、学生教育の低下、及び専任教員の安全等が担保できない。 *高校訪問は、年間の訪問回数及び訪問校数の削減、遠方への訪問の取り止め等の見直しを検討する。 *ITを活用した募集活動が主流となると思われるので対応を模索する。
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *現在の物価状況から、施設、専門機器及び設備の整備、人件費等の経費を考え妥当である。 *近県の同じ専門学校と比較して同程度である。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> *学校案内 *学生募集要項 		

基準8 財務

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	<p>*経費削減に取り組み、毎年度黒字化を実現し中長期的に財務基盤の安定化を目指している。</p> <p>*入学者の充足率が約6割と低迷している為、定員確保が課題であり学生募集に力を入れる必要がある。</p>
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	4	<p>*学校法人会計基準に則り、適正に行われている。</p> <p>*予算計画は法人本部にて調整し、評議員会、理事会にて承認され失効している。概ね妥当と思われる。</p>
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	<p>*公認会計士による外部監査(年間約10回)、及び監事による財務監査を実施しており、指摘事項があった場合には適切に是正措置を講じている。</p>
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	<p>*財務情報をホームページで公開している。</p>
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<p>*事業活動収支計算書 *貸借対照表</p>		

基準9 法令等の遵守

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	*教育基本法、学校教育法、歯科技工士学校指定規則、専修学校設置基準および歯科技工士法等の定めを遵守し運営している。
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	*学校法人山陽女学園の個人情報適正管理規定に則り、適正に対応している。 *学生、保護者、非常勤講師などの関係者から個人情報を取得する場合には、使用目的を明確に伝え、使用後はシュレッダーにかけて破棄している。
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	*自己点検・評価を実施し、課題及び改善等を図っている。
4	自己評価結果を公開しているか	4	*自己評価の結果を6月からホームページにおいて情報公開している
【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> * 歯科技工士養成所指定規則 * 専修学校設置基準 * 歯科技工士法 * 山陽女学園の寄附行為 * 山陽女学園の個人情報適正管理規定 * 授業料納入規定 * 毒物劇物危害防止規定 		

基準10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2	<ul style="list-style-type: none"> * 廿日市市主催の「歯のなんでも相談日」や山陽女学園中等部・高等部主催の文化祭等の行事は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。 * 五日市南中学生の職業体験の受入れができなかった。
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	2	<ul style="list-style-type: none"> * 例年、廿日市市主催の「歯のなんでも相談日」や山陽女学園中等部・高等部主催の文化祭等に数名参加しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、参加できなかった。 * 学生個々には、住居地域のボランティアに参加した報告はある。
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の委託等を積極的に実施しているか	2	<ul style="list-style-type: none"> * 公開講座の開催を検討する。 * 中学生の職業体験の受入れ企業として引き続きエントリーする。 * 「桜まつり」「二百廿日豊年祭」への参加を検討する。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	*本校教職員の社会活動の状況		

3. 評価項目別の評価結果

基準1 学校の理念・教育目的・育成人材像について、ほぼ適切に実施されている。

基準2 学校運営について、ほぼ適切に実施されている。

基準3 関連企業と連携したキャリア教育等について、ほぼ適切に実施されている。

基準4 学修成果については、ほぼ適切に実施されている。

基準5 学生支援については、ほぼ適切に実施されている。

基準6 教育環境については、ほぼ適切に整備されている。

基準7 学生の受入れ募集については、ほぼ適切に実施されている。

基準8 財務については、適切に実施されている。

基準9 法令等の遵守については、ほぼ適切に実施している。

基準10 社会貢献・地域貢献については、やや不適切である。

4. 令和2年度 重点目標達成についての総合的な評価結果

令和3年3月31日（月）現在

1. 教育カリキュラムについて

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	現 状	自己点検における課題とその取り組み	評価
1	企業と連携した職業教育 [職業実践専門課程]の取得	*広島大学病院の見学実習	*計画していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で病院側の判断で中止となった。 *新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着けば、現状の活動を引き続き実施する。	×
		*歯科技工所見学2社（全員参加） *インターンシップ（全員参加）	*4, 5月の休講の代替授業（夏季休暇の縮小）と新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。 *歯科医院及び技工所主催のインターンシップ参加の依頼について、感染拡大防止の観点からお断りして、学生に案内しなかった。 *新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着けば、現状の活動を引き続き実施する。	×
		*特別授業Ⅰ ①顎顔面補綴 ②審美歯科 ③歯肉材料（セラマージュ）	*全て、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。 *新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着けば、現状の活動を引き続き実施する。	×
		*特別授業Ⅱ ①租税教室 ②労働局	*全て、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。 *新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着けば、現状の活動を引き続き実施する。	×
		*企業との連携授業（3社）	*企業3社から講師を派遣いただき、連携授業を実施した。 ①株オーラル・イノベーション1月27日(水) *CAD/CAM ②和田精密歯研(株)広島営業所 2月10日(水) *クラウンWax up ③株愛歯 2月12日(金) *全部床義歯（人工歯排列～歯肉形成）	○
2	国家試験対策	①模擬試験（学説）の受験 *医歯薬出版主催 1回 *全国歯科技工士学校協会主催 2回 *学内模試 2回 ②学内模擬試験（実技）複数回 ③個別指	*第1回全国模試：9月8日(火)に実施した。 (全国歯科技工士学校協会主催) *第2回全国模試：11月30日(月)に実施した。(医歯薬出版(株)主催) *第3回全国模試：1月6日(水)に実施した。(全国歯科技工士学校協会主催) *学内模試：2月17日(水)に本番を想定した時間、形式で実施した。その他、学説模試、実技模試を複数回実施した。 *現状の活動を引き続き実施する。	○

3	新型コロナウイルスの非常事態宣言による休校の対応	<ul style="list-style-type: none"> * 4月15日～5月15日まで休校 * 5月18日～22日まで自主登校 * 5月25日～31日まで休校 	<ul style="list-style-type: none"> * 6月1日より時間割を修正し授業を行った。 * 通常、7月25日～8月31日まで夏季休暇であったが、下記のように休暇を削減して授業にあてた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1学年：7月27日～8月18日 ・ 2学年：7月27日～8月31日 * 下記の期間で、通常4時限を5時限授業に増やして行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月1日～9月30日 * 以上の取り組みにより、休校中の不足時間数を取戻し、1・2学年共に10月1日より通常の授業へと戻った。 	○
---	--------------------------	---	---	---

2. 入学生の確保

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	現 状	自己点検における課題とその取り組み	評価
1	広報活動	<ul style="list-style-type: none"> * ホームページの充実 * 新聞広告（西広島タイムス） * ポスター掲示依頼（コンビニ等） * 歯科関係団体へのポスター掲示依頼 * 学校ガイダンス（業者） * SNSの活用 フェイスブック、インスタグラム 	<ul style="list-style-type: none"> * 例年のように実施できている。 * 新聞広告（西広島タイムス）の掲載 <ul style="list-style-type: none"> 1) 1月8日号 * ポスター掲示依頼（コンビニ等）、（5月）に実施 * 現状の活動を引き続き実施する。 	○
2	高校訪問	<ul style="list-style-type: none"> * 5月、8月の訪問 （広島県114校、山口県43校、島根県10校） * 1月の訪問 （広島県22校、山口県3校） 	<ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナウイルス感染症の影響で、5月、8月、1月の訪問は中止し、1月を除いて全て郵送にした。 * 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着けば、現状の活動を引き続き実施するが、訪問回数、訪問校数の見直しを行う。 	×
3	歯科関係団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> * 事あるごとに協力が得られる体制をとっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県歯科医師会 ・ 広島県歯科技工士会 ・ 広島歯科技工所経営者協議会 ・ 本校同窓会 ・ 全国歯科技工士教育協議会 	<ul style="list-style-type: none"> * 広島県歯科医師会にオープンキャンパスの案内ポスターの掲示を依頼した。（7月） * 広島歯科技工所経営者協議会にも同様に依頼した。（5月） * 11月13日（金）：（一社）広島県歯科技工士会主催の第23回学生カービングコンテストに参加した。（本校学生が金賞、銅賞を受賞） * その他の行事等は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。 * （一社）広島県歯科技工士会発行の歯科技工士啓発マンガへの共催・後援し 	○

		・全国歯科技工士学校協会	た。 *引き続き連携を継続する。	
4	オープン キャンパス	*年間7回の開催 コロナ禍ではあったが、細心の注意をはらい開催した。	*新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、検温、消毒、机の間隔をとり、該当者と付添者の会場を分けて開催した。 *参加者数は昨年度より、27名の減少であったが、入学予定者は昨年度より2名増加した。 (広報活動のどの取り組みが効果的なのかは、不明である。)	○
5	社会人(既卒者)の受け入れ	* (一般) 教育訓練給付金制度教	教育訓練の講座指定を受けている。(令和5年3月31日まで) *職業実践専門課程の取得要件である、学校関係者評価委員会を開催した事により、要件の1つをクリアしている。 *制度について、1件の問い合わせがあったが、入学には至っていない。	○

3. 中途退学者の減少

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	現 状	自己点検における課題とその取り組み	評価
1	学習意欲(モチベーション)の向上	*実習課題等の見直し *保護者(保証人)との連携	*実習課題内容の見直しを検討する。 *保護者会を開催する。*彫刻の手順、クラウンの蝋型採得等の実習課題の見直しを行った。	○
2	学業不振者への対応	*放課後の指導	*引き続き取り組む。 *前期は新型コロナウイルス感染症の影響で、5時限授業を6時10分まで実施してきたので、放課後の指導はあまりできなかった。 *試験不合格者に対して、個別指導を行っている。 *試験不合格者に対して、頻繁に家庭通知を行っているが、回数を削減する。	○
3	心に病を抱えた学生への対応	*保護者(保証人)との連携	*引き続き取り組む。 *例年通り取り組んでいる。	○

4. その他

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	現 状	自己点検における課題とその取り組み	評価
1	学校関係者評価委員会の開催	今年度から委員会を立ち上げ、開催している。	*第1回: 令和2年10月29日(木)に開催。 *第2回: 令和3年1月21日(木)に開催。 *第3回: 令和3年3月25日(木)に開催。	○
2	教育課程編成委員会の開催	今年度から委員会を立ち上げ、開催し	*第1回: 令和2年10月1日(木)に開催。	○

		ている。	*第2回：令和3年2月18日(木)に開催。	
3	保護者懇談会の開催	10月に開催	*令和2年10月24日(土)新型コロナウイルス感染防止の為、中止にしたが個人懇談会は開催した。1年5名、2年3名の出席があった。	○
4	その他、実習授業	教官の周囲(2か所)に集まったのデモンストレーション形式から、過密を避けて、ビデオカメラを活用しスクリーンに投影する形式で行っている。	*今後も、新型コロナウイルス感染症が終息するまで継続する。	○

5. 令和3年度 重点目標と達成計画

(1) 教育活動

- 1) 歯科技工所見学2社（現場見学型、現場体験型）夏季休暇中に全員を参加させる。
- 2) 特別授業Ⅰ
 - ・顎顔面補綴・・・愛知医科大学病院（歯科技工士） 森下裕司先生
 - ・審美歯科・・・学会からの派遣された先生
 - ・「サイレンサー」・・・(株)スマートプラクティス代表 松田信介先生
 - ・「セラマージュ」・・・(株)松風 沖本祐真先生
- 3) 特別授業Ⅱ
 - ・その他
- 4) 学内就職ガイダンス（就職担当教官）

(2) 入学生の確保

- 1) 広報活動の充実
 - ①新聞広告
 - ②ホームページからの情報発信
 - ③業者による会場形式の進学ガイダンス
 - ④近隣地域へのポスター掲示依頼
 - ⑤SNSの活用
- 2) 高校訪問の実施
 - ①専任教員が年間3回（5月、8月、1月頃）の訪問。
対象は、広島県（累計225校）、山口県（累計85校）、島根県（累計18校）
※訪問回数、訪問高校数、訪問地域の削減を前提に見直す。
- 3) 歯科関係団体との連携
 - *（一社）広島県歯科医師会 *（一社）広島市歯科医師会
 - *（一社）広島県歯科技工士会、 * 広島県歯科技工所経営者協議会
 - * 全国歯科技工士教育協議会 *（一社）全国歯科技工士学校協会
 - * 本校同窓会 * 廿日市市
- 4) 社会人の受け入れ

(3) 業務の見直し

専任教員による見直し検討会の開催（必要に応じて）

(4) 中途退学者の減少

- 1) 学習意欲の向上を計る。
 - ① 実習課題の見直し
 - ② 放課後の指導
- 2) 学業不良者への対応（放課後の指導）
- 3) 心に病を抱えた学生への対応
- 4) 保護者との連携

(5) その他

- 1) 国家試験対策
 - ① 国家試験問題集（学説）の宿題の実施（1年生の10月から）
 - ② 全国模擬試験の参加（全国歯科技工士学校協会主催2回、医歯薬出版主催1回）
 - ③ 学内学説模擬試験の実施
 - ④ 実技模擬試験の実施
 - ⑤ 個別指導
- 2) 自己点検、自己評価について
 - ① ホームページへの学校情報の公開
 - ② 学校関係者評価委員会の開催と報告書の公開
 - ③ 教育課程編成委員会の開催と公開
- 3) 保護者懇談会の開催
* 例年10月の土曜日に開催